

平成 18 年度ヒヤリハット事例

No.	タイトル	事例配信日
1	錐体外路症状などを起こす可能性ある薬剤が複数併用された	2006/4/3
2	朝の薬剤と夕方の薬剤を勝手に入れ替えて服用していた患者	2006/4/17
3	プソイドエフェドリンを含有した鼻炎薬を購入しようとした高血圧患者	2006/4/24
4	以前に飲んでいた別の薬の服薬回数に引きずられて過量投与	2006/5/1
5	ワルファリン服用の情報が歯科医師に伝わっておらず、次の日に抜歯することとなってしまった	2006/5/8
6	レンドルミン普通錠を口腔内崩壊錠と同じように口中でとかして服用していた患者	2006/5/15
7	自宅残薬のフルツロンとティーエスワンを同時服用し、副作用が惹起してしまった患者	2006/5/22
8	ニューキノロン系抗菌剤による痙攣誘発の危険因子（基礎疾患としての痙攣と非ステロイド性消炎鎮痛剤との併用）まで考慮した処方設計を	2006/5/29
9	モーラステープ剥離後も注意しなければならない光線過敏症	2006/6/12
10	高度腎障害患者に常用量のメイアクトをうっかり処方してしまった	2006/6/19
11	1日3回服用の薬剤に引きずられて1日1回服用の薬剤を1日3回服用してしまった	2006/6/26
12	うっかり！リパンチルからリピディルに同投与量で切り替えてしまった	2006/7/10
13	プレタールとバイアスピリン服用患者がグレープフルーツジュースを飲んで起こった内出血（皮下出血）	2006/7/14
14	ケテックを脳梗塞既往歴のある手足麻痺の患者に処方！まさか、車の運転をすることは思わなかった！	2006/7/24
15	サリグレンの副作用の説明をしなかったため耳鼻科で薬をもらっていた患者	2006/8/7
16	コンスタンとルボックスとの併用による眠気・あくびがトレドミンへの変更で改善	2006/8/11
17	メチコバルの钴を放射性物質と思いこんだ患者	2006/8/21
18	抗アレルギー剤による月経異常にも注意を！	2006/9/4
19	医薬品包装の落とし穴！目の不自由な患者が乾燥剤を内服した	2006/9/11
20	抗癌剤、ティーエスワンの併用によってフェニトイン中毒！	2006/9/19
21	むくみや倦怠感を芍薬甘草湯による副作用とは思わなかった患者	2006/10/2
22	便秘解消の目的でベイスンを他人にあげたりもらったり	2006/10/6
23	透析患者に他科から処方された不適正な下剤を大量発見	2006/10/16
24	血液濾過患者にクラリスロマイシンが併用されジゴキシン血清中濃度が徐々に上昇	2006/10/30
25	薬価に全く関心を持っていなかったことから患者との間でトラブル	2006/11/6
26	吸入用ステロイド薬使用後のうがいに関する認識が不十分だった	2006/11/13
27	処方せんに勝手に薬名を加筆しても問題ないと考えていた患者	2006/11/27
28	転院時の紹介状でハイセレニン細粒の用量が 1,100 mg のところ 700 mg と書き間違えてしまった！その理由は？	2006/12/4
29	飲み忘れたときには、後で「まとめ飲み」すればよいと考える患者	2006/12/11
29	飲み忘れたときには、後で「まとめ飲み」すればよいと考える患者	2006/12/11
30	セルシン、オメプラールの代謝酵素 CYP2C19 の遺伝子多型の知識は臨床には必要！？	2006/12/25
31	食事をしていない場合、ユーゼルとユーエフティは服用できないと思い込んだ患者	2006/12/28
32	セレベントとフルタイトの併用でフルタイトのノンコンプライアンス！なぜ？	2006/1/8

33	入院カルテから外来カルテへの薬剤（アセトアミノフェン）アレルギー歴の転記もれでヒヤリ	2006/1/22
34	17歳の若年緑内障患者に PL 顆粒を処方、人は見た目で判断してはだめ！	2006/1/29
35	メルカゾール錠服用中の患者にイソジンガーグルを処方してしまった	2007/2/5
36	幼い兄弟二人の同時期の診察で処方が混乱してしまった	2007/2/19
37	マレイン酸クロルフェニラミン d 体と dl 体では服用量が違うことを知らなかった医師	2007/2/26
38	PTP の色が似ているディオバン錠とアクトス錠、混乱してアクトス錠を倍量服用してしまった患者	2007/3/5
39	トフラニールからパキシルへの処方変更に薬物相互作用の問題を加味しなかった	2007/3/19
40	後発医薬品への切り替えに関して、病院の方針と医師の勘違いから薬剤変更となり不安になった患者	2007/3/26

平成 18 年度薬物相互作用クイズ配信一覧

No.	タイトル	事例配信日
1	金属カチオン製剤は薬物の効果に影響を及ぼすか。	2006/6/5
2	処方作成時に見落としがちな「複合副作用」	2006/7/3
3	この飲み合わせ大丈夫？ 下痢止め効果は期待できるか？	2006/7/31
4	オランザピン（ジプレキサ）、テオフィリン（テオドールなど）服用患者の禁煙時は要注意！	2006/8/28
5	解熱鎮痛剤（イブプロフェン）で作用が減弱する可能性のある薬剤は？	2006/10/23
6	胃の動きを良くするプリンペラン、併用薬との飲み合わせは大丈夫？	2006/11/20

平成 18 年度相互作用コンサルティング事例

No.	タイトル	事例配信日
1	緑茶がワルファリンの効果を左右する？	2006/4/10
2	コルヒチンとクラリスの併用を中止したのは妥当か？	2006/9/25
3	グレープフルーツを食べてもなんともないバイミカード服用患者	2006/12/18
4	クラリシッドとテオドールの併用は問題ないか？	2006/1/15
5	イトリゾール内用液はなぜ空腹時服用？ いったいいつから食事摂取が可能なのか？	2007/2/10
6	パキシルを漸減中のロプレソールの投与量調節法は？	2007/3/1

第 1 回 ヒヤリハット事例に学ぶ

「薬剤業務リスクマネジメント」研究会プログラム（抜粋）

厚生労働科学研究

医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス総合 研究事業

「臨床事例を活用した実践的薬学教育研修システムの確立とその評価」

研究代表者：澤田康文

研究分担者：堀 里子

## 第 1 回

ヒヤリハット事例に学ぶ

# 「薬剤業務リスクマネジメント」研究会

2006 年 5 月 27 日 (土)・28 日 (日)

会場/東京大学小柴ホール

主催/東京大学大学院 薬学系研究科

医薬品情報学講座

## 第 1 回

ヒヤリハット事例に学ぶ「薬剤業務リスクマネジメント」研究

### 会プログラム

発表時間 1 題 5 分 (全 35 演題)

第一日目 (5 月 27 日 (土) 15:00 ~ 18:15)

15:00 ~ 15:30

本研究発表会を企図して

澤田康文 (東大院情報学環・同院薬)

<テーマ A : 処方せんチェックのリスクマネジメント>

15:30 ~ 16:20

座長 : 大谷壽一 (東大院薬)

【A-01】 コニールとイトリゾールの相互作用と思われる足の浮腫

近藤純平（総合メディカル成田東店）

【A-02】 ラミシールを飲み忘れた場合の対処法はどうしたらよいのか？

堀 里子（東大院薬）

【A-03】 患者に知られずに行うトリアゾラム中止のための処方設計法とは？

堀 里子（東大院薬）

【A-04】 ムコダイン DS とエリスロシン DS の混合処方をそのまま交付して、子供が薬を吐き出してしまい途方にくれた家族

鮫島千織（七隈調剤薬局）

【A-05】 クラリス過量投与に対して、医師を過信して疑義照会をためらった

津山真澄（キク調剤薬局）

討論（25 分間）

## <テーマ B：薬剤の調製・調合のリスクマネジメント-1 >

16:20 ～ 17:10

座長：高木淳一（福岡市薬剤師会）

【B-01】 5 歳から 6 歳になってバルプロ酸の投与量が急に 2.5 倍に増え、誤処方、誤調剤ではないかと心配となった家族

堤 麻理子（福岡市薬剤師会営薬局百道店）

【B-02】 乳糖による賦形でアスピリンの色が薄まり疑われた調剤ミス

近藤純平（総合メディカル成田東店）

【B-03】 ジクロフェナク坐剤の先発医薬品とジェネリック医薬品の包装があまりにも違いすぎて起こった規格単位調剤ミス

石橋 久（福岡市薬剤師会営薬局百道店）

【B-04】 手書き処方せんの日量の数字「39」と「89」を見間違っ誤調剤

八尋 健（輔仁薬局）

【B-05】 ワルファリン製剤半錠後に薬剤の色を見間違え、誤調剤

石川弘子（総合メディカル八尾店）

討論 (25 分間)

(17:10 ~ 17:25 休憩)

<テーマ B : 薬剤の調製・調合のリスクマネジメント-2 >

17:25 ~ 18:15

座長 : 三木晶子 (東大院薬)

【B-06】正しく調剤されていたインスリン製剤を調剤鑑査ミスして誤投薬

山田 卓 (サエラ薬局)

【B-07】先発品・後発品間の誤調剤に複数の要因が潜む

山田 卓 (サエラ薬局)

【B-08】チーカプト (シメチジン) をカプトプリルのジェネリック医薬品と思いこんで

危うく H2-遮断剤の重複投与を見逃すところであった

奥田勅子 (サエラ薬局)

【B-09】知識不足でベストロン耳科用液の溶解液のみ交付してしまった

奥田勅子 (サエラ薬局)

【B-10】溶解前後の区別がつかないサルペリン点眼薬で使用出来なくなった患者

三木晶子 (東大院薬)

討論 (25 分間)

19:00 ~ 21:00 懇親会

(場所 : 東京ガーデンパレス)

第二日目（5月28日（日）9:00～12:50）

<テーマB：薬剤の調製・調合のリスクマネジメント-3>

9:00～9:50

座長：田中祥子（文京区薬剤師会）

【B-11】カルブロックの10錠シートを14錠シートと勘違いして調剤

金澤 彩子（福岡市薬剤師会営薬局百道店）

【B-12】バルトレックス錠のPTPシートを10錠シートと思いこんでしまった

八尋 健（輔仁薬局）

【B-13】ニバジール錠の処方にてコニール錠を誤調剤してしまった要因は？

森千江子（双和薬局）

【B-14】リーマスとクラリスとを間違えて調剤、どこがどう似ているのか？

磯野喜美子（和同会薬局）

【B-15】勝手な思いこみなどから新規採用医薬品トレドミンのところ誤ってレンドルミンを調剤

久野木良子（和同会薬局）

討論（25分間）

<テーマC：服薬指導・薬歴管理のリスクマネジメント-1>

9:50～10:40

座長：堀 里子（東大院薬）

【C-01】ミカルディス服用時期が変更になっていたのに薬情がそのままだったため過量服用となった患者

加留部信介（福岡市薬剤師会営薬局七隈店）

【C-02】ロキソニン錠からロルフェナミン錠に変更になり両脇が腫れた患者

田崎恵玲奈（福岡市薬剤師会営薬局七隈店）

【C-03】モーラステープからタッチロンテープへの変更によって使用感の違いを経験した患者からクレーム

斉田翌美（福岡市薬剤師会営薬局百道店）

【C-04】 使用法説明不足からマーズレン ES 錠を一気に飲み込んでのどにつまらせてしまった患者

渡辺哲夫（輔仁薬局）

【C-05】 医師、薬剤師共にリンデロン A 液の耳科領域への適応削除を知らず患者に不安を与えてしまった

渡辺哲夫（輔仁薬局）

討論（25 分間）

（10:40 ～ 10:55 休憩）

<テーマ C：服薬指導・薬歴管理のリスクマネジメント-2>

10:55 ～ 11:45

座長：森千江子（双和薬局）

【C-06】 ダオニール錠とアモバン錠の PTP シートの色と錠剤形状の類似で患者が混乱

長岡 佐知（福岡市薬剤師会営薬局七隈店）

【C-07】 アクアチム軟膏の服薬指導が不十分ため起こった患者の不適正使用

近藤純平（総合メディカル成田東店）

【C-08】 5-FU 軟膏の使用法を代理人に説明して患者が不適正使用

近藤純平（総合メディカル成田東店）

【C-09】 「内出血」の危険性の説明によって服薬ノンコンプライアンス

石川弘子（総合メディカル八尾店）

【C-10】 リンデロン坐剤の挿入方向を間違っただけですぐに排出されてしまうと訴えた患者

加納美知子（和同会薬局）

討論（25 分間）

（11:45 ～ 11:55 休憩）

<テーマ C：服薬指導・薬歴管理のリスクマネジメント-3>



11:55 ~ 12:45

座長：木原三千代（福岡市薬剤師会）

【C-11】テルロンのところをパルタン M と誤処方した婦人科医師

石橋 久（福岡市薬剤師会営薬局百道店）

【C-12】他施設の医師の処方内容をいいつけたと激怒した患者

石川弘子（総合メディカル八尾店）

【C-13】塗布部位の異なる外用剤が数種類処方され、薬袋へ入れ間違えて混乱

八尋 健（輔仁薬局）

【C-14】バイアスピリンを紛失したものと思いこみ近医でもらって事なきを得ていた患者

赤嶺有希子（和同会薬局）

【C-15】スピリーバ吸入時に音が聞こえず不安になった患者

斉田翌美（福岡市薬剤師会営薬局百道店）

討論（25 分間）

12:45 ~ 12:50 総括

澤田康文（東大院情報学環・同院薬）

## 研究成果の刊行に関する一覧表

## 書籍

なし

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2006年 5 月号	39-40	2006
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2006年 7 月号	43-44	2006
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2006年 9 月号	32-33	2006
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2006年 11 月号	39-40	2006
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2007年 1 月号	31-33	2007
澤田康文	ヒヤリハット事例に学ぶ	日経ドラッグインフォメーション	2007年 3 月号	36-37	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (56)	ふくおか県薬会報	19 (4)	243-249	2006
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (57)	ふくおか県薬会報	19 (5)	305-313	2006
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (58)	ふくおか県薬会報	19 (6)	398-403	2006
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (59)	ふくおか県薬会報	19 (7)	471-477	2006
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (60)	ふくおか県薬会報	19 (8)	548-553	2006
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (61)	ふくおか県薬会報	19 (9)	638-644	2006
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (62)	ふくおか県薬会報	19 (10)	705-710	2006
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (63)	ふくおか県薬会報	19 (11)	774-780	2006
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (64)	ふくおか県薬会報	19 (12)	839-844	2006
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (65)	ふくおか県薬会報	20 (1)	41-46	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (66)	ふくおか県薬会報	20 (2)	95-102	2007
澤田康文	「ヒヤリ・ハット」と「処方チェック」の実際 (67)	ふくおか県薬会報	20 (3)	153-160	2007
澤田康文	全国薬剤師間情報交換研修システム (アイフィス) による医薬品適正使用・育薬の推進	日本病院薬剤師会雑誌	43 (2)	167-170	2007

※注 日本病院薬剤師会雑誌以外は、いずれも本研究の過程で作出した教育的臨床事例を提供したもので、研究成果そのものを取りまとめて報告したものではない。